

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育内容（音楽表現）指導法 英語表記：Method of Nursing (Musical Expression)		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：眞柄絵里
ナンバリング：2307		担当形態：単独	
科目/系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 /保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） /保育内容演習		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
1. 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの音楽表現における指導法を身につけることができる。			
2. 具体的な音楽表現活動を想定して指導案を作成し、実践（模擬保育）することができる。			
3. 音楽表現活動に、情報機器及び教材を活用することができる。			
<b>【授業の概要】</b>			
領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現意欲を養い、創造性を豊かにするような音楽表現の指導法を身につける。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
<b>【授業計画】</b>		<b>【授業時間外の学習】</b>	
第1回：ガイダンス～領域「表現」における音楽表現～		（毎回それぞれ指示した予習・復習を1時間）	
第2回：サウンドスケープ（音環境と表現）		・毎回のテーマについての調べ学習	
第3回：歌う活動の指導法（わらべ歌・遊び歌）		・毎回、順番で遊び歌の模擬授業を行うので、指導案作成と発表準備と練習をする	
第4回：歌う活動の指導法（生活の歌・季節の歌）		・合奏曲の編曲の仕上げ	
第5回：楽器を使った活動の指導法（楽器の奏法）		・合奏曲発表の準備・練習	
第6回：楽器を使った活動の指導法（合奏曲の編曲法）		・指導案作成	
第7回：楽器を使った活動の指導法（合奏曲の発表）		・模擬授業の準備	
第8回：世界の音楽教育について （ダルクローズ、オルフ、コダーイの音楽教育）		・模擬授業の振り返り	
第9回：保育内容としての音楽表現と、小学校教育の音楽の学びと連続性について			
第10回：音楽表現活動の指導案を作成			
第11回：指導案に沿って模擬授業発表			
第12回：模擬授業実践の振り返り			
第13回：音楽的活動と他領域との関係（音楽と動き）			

第14回：音楽的活動と他領域との関係（音楽とICT活用） 第15回：音楽表現における保育実践の動向と今後の実践に向けて 定期試験：筆記	
<b>【授業の方法】</b> 講義と演習。提出されたワークシートや指導案にコメントを入れて返却する。	
<b>【テキスト】</b> 必要に応じ適宜プリントを配布する。	
<b>【参考書・参考資料等】</b> 『実践しながら学ぶ子どもの音楽表現』石井玲子編著 教育情報出版 『保育者を育てるための保育内容音楽表現』石井玲子編著 教育情報出版 『コンパクト版保育内容シリーズ『音楽表現』』谷田貝公昭監修 一藝社 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）	
<b>【学生に対する評価】</b> ルーブリック評価を活用した評価－ワークシートや指導案などの提出物、発表内容（40%）と授業参画度（10%）と定期試験の成績（50%）で評価する。	
<b>【履修上の注意】</b> 模擬授業発表の場に対し、しっかりと準備して積極的に取り組むこと。 何事にも興味・関心を持ち、心の枠を広げられるように臨んでほしい	
実務経験の有無：有	実務経験：元幼稚園教諭・元保育士
<b>【実務経験を生かした教育内容】</b> 私立幼稚園および公立保育園で担任としてクラスを運営してきた経験を活かし、具体的な子どもの姿や保育者の関わりなどをわかりやすく伝え、実践に活かせる保育技術を身につけられるよう授業を行う。	